



中 田 小

令和5年12月22日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「ともだち」を思いやる

校長 中村 真弓



令和5年も終わりを迎えようとしています。今年も中田小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。令和6年もこれまで同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

12月はインフルエンザや胃腸炎等の感染力の強い病気のために様々な活動や行事を延期や中止にする措置を取りました。一時下火になりましたが、年末を迎えてもなお、欠席している児童が多い状況です。保護者の皆様には、お子さんの健康観察にご協力いただき、ありがとうございました。年明けには元気な子どもたちと会えることを願っています。

毎年のことですが、12月10日の世界人権デーにちなみ、中田小では12月を人権月間として子どもも大人も改めて人権について意識する機会としています。今年度の取組については、学校だより2月号でお伝えする予定です。

人権課題は様々にあり、神奈川県教育委員会の「みんなの個性でいろどる世界」というポスターでは『子どもの人権 女性の人権 障がい者の人権 高齢者の人権 疾病等にかかる人権課題 同和問題 外国籍県民等の人権 貧困等にかかる人権課題 犯罪被害者等の人権 北朝鮮当局によって拉致された被害者等 性的マイノリティの人権 インターネットによる人権侵害 様々な人権課題』があげられています。自分とは大きく違ういろいろな境遇の方のことは、相手を思いやる心をもって接しなければならない、と子どもたちも比較的理解しやすい様子です。学校の中で言うと、異学年交流の時には自分より下の学年の人たちに自然に優しく接する高学年の姿がみられることがその例でしょう。

一方で、とても身近な存在で自分と同じような境遇の人に対してはどうでしょうか。対等な立場の同じ学年やクラスの友だちに対しては気づかいをしたり相手を思いやることもなく、自分とのささいな違いから心ない言葉をぶついたり、意地悪をしたりしてはいないでしょうか。そんなことを考えて欲しくて谷川俊太郎・文、和田誠・絵の『ともだち』(玉川大学出版部)を朝会で紹介しました。その中の「どんなきもちかな」という箇所からの抜粋です。

しかられたともだちは どんなきもちかな。

なかまはずれに されたら どんなきもちかな。

しっばいを わらわれたら どんなきもちかな。

ないしょばなしを されたら どんなきもちかな。

やくそくを やぶられたら どんなきもちかな。

中田小学校の子どもたちが他人(ひと)の気持ちを思いやれる  
人に育って欲しいと願っています。

